

3 海外30カ国で販売・リユースが行われ、開発途上国のビジネスや雇用につながる。衣類などの販売・再輸出をする直営店兼センターがカンボジアにオープン



↑衣類などを1点売ると、1ポリオワクチンを開発途上国の子どもたちに寄付できるシステム。「売ると誰かの助けになる」、それがスタッフの働くモチベーションにもなっています。



↑古着deワクチンの衣類回収袋に使用するデザインのコンクールが行われ、視覚障がいのあるアーティスト・庫美原(くらみはら)さんの作品「たまのお」が選ばれました。

←カンボジアの首都・プノンペンにある直営店兼センターでは、障がいのある方や、かつてストリートチルドレンだった若者たちを積極的に採用。経済的な自立を応援しています。



1 キット1口の購入でポリオワクチン5人分を、開発途上国の子どもたちに寄付したことに

←古着deワクチンの専用回収キット購入代金の中から、5人分のポリオワクチン代を寄付して預かり、「認定NPO法人 世界の子どもにワクチン」を日本委員会(JCV)」に届けます。JCVを通して、ミャンマーやラオス、ブータン、バヌアツの子どもたちにワクチンを届けています。

## 「古着deワクチン」を利用すると、こんな社会貢献につながっていきます

古着deワクチンは、ご不要になった衣類や靴、バッグ、服飾雑貨を、専用回収キット(3300円(税込))を購入・利用して送ることができる片づけ商品です。簡単便利に片づけられるだけでなく、SDGsの9つのゴール達成と社会貢献にもつながっていきます。

4 一般社団法人障がい者アート協会とコラボ。ハンデがあっても世界で活躍したい障がい者アーティストの支援を行う



←採用作品「たまのお」  
©庫美原。着物の温かさと人のつながりが表現されています。この作品は衣類回収袋のデザインに使用され、古着deワクチンの販売個数に応じて著作権料が支払われ、アート活動をサポートします。

2 専用回収キットの封入作業や衣類の仕分け・販売など、国内外の障がいのある方の雇用につながる



↑お礼状や衣類回収袋などキット式の梱包から、お客さまへの発送まで、国内の福祉作業所が一貫して行っています。それが障がいのある方たちの仕事につながっています。



↑海外の店舗でも、障がいのある方たちを積極的に採用。人の役に立つ仕事をすることで、今まで支援される側だった人たちが、誰かを支援できる力をもてるようにサポート。



愛着のある衣類だからこそ、もう一度役立ってほしい

「思い出があっても手放せなかった。息子(21歳)の卒園式に買ったスーツや、娘(26歳)のランドセルも、もう一度誰かの役に立てるなら、うれしいですね」

衣類回収袋にはこんなにたくさん入ります!

目安として薄手の衣類なら約100枚強入る回収袋。中身が重くなるので玄関で詰めるとラク。

専用回収キットを注文するとこれが届きます

お礼状や衣類回収袋が入ったキット。段ボール箱を用意しなくてもいいから手軽でうれしい。



# 愛着ある衣類のサステナブルな手放し方

まだ十分着られるのに、もうずっと着ていない服、使っていない靴やバッグ、アクセサリ。思い出があるから、いつかリメイクするから、高かったから……その気持ち、わかります。でも、モノを手放して誰かの役に立つことができるなら試してみたいと思いませんか。

住まいと心がすっきり！社会貢献にもつながる！！

まだ使えるのに出番のないまま眠っているものはありませんか。「捨てるのはもったいないし、リサイクルショップやフリマアプリで売るのはハードルが高すぎて……」という声も聞こえてきます。ゆうゆうモデルの酒井昭子さんもそんな一人。成人した2人の子どもの思い出の品、サイズが合わなかった衣類や靴、仕切りが多すぎて使いにくいバッグなど……。「息子が小学生のときに履いていた長靴も、いつか自分が履こうと思いついてありまして(笑)。でも、捨てるに有効活用できるなら気持ちよく手放せませうね」

古着deワクチンに衣類を送ると開発途上国で販売・リユースを行うからサステナブル。また、キット1口の購入で世界の子どものためポリオワクチン5人分を寄付できます。国内外での雇用の創出にも寄与できるなど、さまざまな社会貢献につながっています。酒井さんは、「片づくうえに、愛着のある衣類を無駄にしないで誰かの役に立てるというのが、とても素敵だと思います。ホームページには、衣類が活用される流れやカンボジアでの店舗販売などの活動内容が報告されているので、納得して利用できますね」

## 「古着deワクチン」の利用方法

ホームページから専用回収キットを購入し、届いたキットに同梱された回収袋を広げ衣類などを詰めて発送します。集荷方法は①インターネットで依頼する、②電話で依頼する、の2通りから選べ、玄関まで配送業者が取りに来てくれます。専用回収キット/3300円(税込)

●送れるもの/衣類、バッグ、靴、帽子、ベルト、サングラス、伊達メガネ、新品・未使用のタオル類全般、毛布、アクセサリ、ネクタイ、マフラー、ストール、スカーフ

●送れないもの/下着、靴下・タイツ、シミ・汚れ・破損のひどいもの、寝具(毛布除く)、使用済みタオル、ハンガー、食品、電化製品、台所用品、本、現金 ※判断がつかない場合はホームページを参照ください。

●お問い合わせ

注文専用 ☎0120-126-316(9:00~17:30 土日祝受付可)

商品に関するお問い合わせ

☎0120-206-225(9:00~17:30 土日祝受付可)

<https://furugidevaccine.etsl.jp/>



心癒やされる「水辺の旅」

山内恵介さん 好評連載中!

2号連続 創刊22周年記念 豪華プレゼント&モニター募集

50代から「私」が主役! 9 2022 SEPTEMBER

原田美枝子さん  
この人に聞きたい 草薨剛さん  
スペシャル対談 「貧乏はあさん」でも使えない 樋口恵子さん 上野千鶴子さん  
夏の作りおき レシピ

特集 人、モノ、思い出、どれも人生の財産!

「捨てるにすっきり」は叶う

たくさんのご感想 ありがとうございました! 草薨 久留美 大賞発表!

防災・減災 これだけは! たるみもほうれい線も解消 フェイスアップ ダンス 夫との暮らし ストレスですか? 目の不調は 早めに解決!



人、モノ、思い出、  
どれも人生の財産!

# 「捨てずにすっきり」 は叶う

モノを捨ててすっきり暮らすのが理想——。今までは何を捨てて、  
どう片づけるかをお伝えしてきましたが、  
「モノが捨てられないのは、実は愛情深い人」という片づけ専門家の声を聞き、  
今回は「捨てずにすっきり」を叶える方法を考えたいと思います。世界が循環型社会を目指す今、  
新・すっきりヒントは「整える」「再利用」「サステナブル」にあります。

読者の  
皆さまの声

捨てられないもの、捨てたくないもの、  
捨てて後悔したものは？

捨てずに家を整える  
片づけメソッド

提案

1



中山真由美さん  
整理収納アドバイザー

提案

2



岡野久美子さん  
ゆうゆうモデル

提案

3



枝元なほみさん  
料理研究家

「まだ着ることが出来る衣類を  
誰かの役に立ててほしい」と思っ

引っ越しをしたとき、収納スペースが以前よりかなり狭くなり、早急に衣類を整理しなければいけなくなりました。高価だったのにサイズが合わなくなつて着ていない服、重すぎて使っていないバッグ、もう履くのがつらいヒール靴……。そんな衣類や小物がたくさん出てきました。どれもまだまだ使える状態で、捨てるのが惜しくて。

そんなときネットで知ったのが「古着deワクチン」です。専用の回収キットを3300円で購入するのですが、これを利用することで、開発途上国の子どもたちにポリオワクチンを寄付できるのです。送った衣類は海外で再利用されているというのも、エコにつながっているという購入しました。送られてきたキッ



ホームページが電話で、専用回収キット(右・3300円)を購入し、キットに同梱された回収袋を広げ、衣類などを詰めて発送する。  
古着deワクチン ☎0120-206-225 (9:00~17:30 土日祝受付可)  
<http://furugidevaccine.etsl.jp/>

トの回収袋を広げると、とても大きくて衣類がたっぷり入りました。とても重い荷物になってしまいました。が、玄関まで宅配業者の方が取りに来てくれたので問題なし。手軽で便利でした。何より、クローゼットで眠っていた衣類がもう一度役に立つというのがうれしい。少しでも社会貢献した気分にもなれました。

(HKさん・60代・東京都)